

# 見積書参考様式

## 記入例

住宅改修の種類 (※1)	写真等 番号	改修場所	改修部分	名称(※2)	商品名・規格・寸法等	介護保険対象部分				算出根拠
						数量	単位	単価	金額	
(6)	No.1	1階洋室	壁	下地補強板	ABC社 xx-987a 100×50 L=800	○	枚	□□	○○○○	
(1)	No.2		手すり	手すり	DE社 z-123 木製(金具:ステンレス)	○	m	○○○	○○○○	
(1)				エンドキャップ	GHI社 YY456	○	個	○○○	○○○○	
(1)						○	人工	○○○	○○○○	
(1)									△△△	
(3)		1階和室-DK	撤去			○○	m	□□	□□□□	対象(床)部分を大工手間比較2/3で按分
(3)			床	フローリング材	フロー12mm下地のあふり不敷巾=60	□	m	□□	□□□□	
(3)				フローリング張り施工費		□	人工	□□	□□□□	
(3)				1階和室-DK計					△△△	
(3)(5)		1階トイレ	撤去	既存和式便器、床(タイル)撤去工事費		○○	m	□□	□□□□	便器床部分を1/3で按分
(3)	No.7		床	床:クッションフロア材	JKL社 QQ123 合板 t=12mm下地共	○	m	○○○	○○○○	
(3)				床貼り施工費		○	人工	○○○	○○○○	
(5)	No.8		便器	洋式便器	MN社 ABC-defg1234	1	個	○○○	○○○○	
(5)				便器取付け施工費		○	人工	○○○	○○○○	
(5)	No.9		給排水工事	給排水管接続工事費		○	m	○○○	○○○○	
				トイレ計						
				小計					○○○○	
				諸経費		○	%		△△△	
				合計					□□□□	
				消費税		8	%		○○○	
				総合計					△△△△	

材料については、製造メーカー・商品名・規格・寸法などの詳細を記載する。

材料名等は極力専門用語を避け、分かりやすい表記にする。  
(例: PB ⇒ 石膏ボード、SUS ⇒ ステンレス等)

介護保険対象部分を抽出する場合は、その工事範囲を明示する。

対象(床)部分を大工手間比較2/3で按分

住宅改修の種類を明示する。

介護保険対象範囲を明示するのが困難な項目については按分をして、その根拠を示す。

工事の対象となる箇所の写真や図の番号を記載する。

介護保険給付申請に係る工事については、材料費と施工費を適切に区分する。

対象経費について保険者(長岡市)が按分計算します

(※1) 住宅改修の種類: (1) 手すりの取付け (2) 段差の解消 (3) 滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更 (4) 引き戸等への扉の取替え (5) 洋式便器等への便器の取替え (6) その他住宅改修に付帯して必要となる改修  
(※2) 名称: 材料費、施工費、諸経費等を分けて記載すること